

モ一月十五日制定ノ別記(一)ノ規程ニ基キ退職手當其ノ他ノ支給ヲ了セリ

然ルニ之レヨリ先職田玉治外數名ノ退職者ハ銀行側ニ於テ果シテ誠意アル優遇方法ヲ講スルヤ否マラ危ミ全國労働組合同盟茅野真好、天満芳太郎ニ應接方ヲ依頼シ一月八日退職慰勞金三十割支給サレタレ外四項ノ別記(一)ノ數額書ヲ提出銀行側ト交渉セルガ當時銀行側ハ充分諸名ノ意ニ添フベシト田答ヲ為シ置キ下ラ發表セラレタル新退職規程ノ條件ハ勤續年數ニ依リ甚クシキ高低アリ十年未満ノ勤續者ノ如キ

- (一) 退職慰勞金十割
- (二) 特別手當 三割
- (三) 三年未満ノ勤續者ハ三ヶ月、三年以上ノモノハ六ヶ月、退職給支給(休職給ハ月額ノ半額)

ト云フニ過キス數額事項ト相距ルコト遠キナリ其ノ中ニハ情実緣故ヲ以テ暗中飛躍ニ依リ畧シ希望通ノ條件ヲ獲得セルモノアリ且テ銀行側ノ不公ナル措置ノ憤慨日本橋支店上田健以下、上野、白山、西國、横浜ノ各支店外勤社員十九名ハ結末三月五日更ラニ前記數額書ト同様ノモノヲ再ビ提出セルカ拒絕セラレタルニ因ル

六 交渉状況

右數額書提出後四月二十六日同銀行應接室ニ於テ銀行側庶務主任川崎總夫ト組合代表茅野、天満、市林、從業員代表磯田玉治、市林傳次郎ハ五名ト第一回會見ニ行ヒ
去ル一月數額書提出ノ際吾々ノ意思ニ添フ旨ノ甘言ヲ弄シ辭表提出ヲ強要シ乍ラ劣悪ナル條件ヲ以テ解職シタルハ實ニ卑劣ナル詐術ヲ用ヒタルモノト云クハ久銀行ニハ尚ホ四十萬圓